

わたくしたちの健康

学校健診における色覚検査

朝霞地区医師会 佐々木 淳

☎464-4666

平成28年から、学校健診における色覚検査が希望者に対し行われるようになりました。24歳以上の方は小学生の頃に色覚検査を受けた記憶があることと思います。それより若い方は学校健診では色覚検査を受けていません。これは差別につながる危険を考慮して、平成15年に事実上廃止されていたものです。検査を受けず、自身の色覚異常に気付かなかつた人が、進学や就職の際にはじめて困難に直面してしまう例が増えつつあるため、色覚検査が改めて推奨されることになりました。

人間は主に網膜の錐体という細胞で色を感じます。錐体細胞は3種類あり、それぞれ長波長（赤色付近）、中波長（緑色）、短波長（青色）の光を感じ取ることに優れています。これら3種の錐体細胞のバランスにより、3色の絵の具を混ぜ合わせてたくさんの色を表現できるように、さまざまな色を見分けることができます。

遺伝子の影響で錐体細胞の働きが生まれつき低下している状態を先天性色覚異常といいます。例えると混ぜ合わせる3色の絵の具のうち1色が、とても少なかったり、または全く無かったりすると表現できる色の種類が減るように、結果として正常と比べて色の違いを見分けることに困難が生じます。3種の錐体細胞において、どれほどの程度機能低下しているのかによって、先天性色覚異常の分類や程度が異なります。すなわち症状は軽い人から重い人まで様々ですが、進行することや回復することはなく、有効な治療法はまだありません。

一般的には伴性劣性遺伝という遺伝形式をとり、おおよそ男性の20人に1人、女性の400人に1人が先天性色覚異常です。男性が多く、クラスに1人位といった頻度でしょうか。女性は10人に1人が遺伝上の保因者ですが、保因者の色覚は正常です。

先天性色覚異常の大半は症状が軽く日常生活では支障がほとんどありませんが、色を扱う職業に就くことは不利になる場合があります。飛行機・船舶・電車の運転手、警察官、自衛官などにおいては色覚による就業制限があります。制限のない職業においても、映像、グラフィックデザイン、印刷、染色などの分野では障害になる可能性があります。進路を決定する際には、自身の色覚異常の有無を理解しておくことが重要です。

学校健診の色覚検査では、仮性同色表という冊子を用いてスクリーニングを行います。色覚異常があると見分けにくい数種類の色で数字や図形が描かれており、見間違いがあるかどうかを判定します。色覚検査を再開するにあたり、色覚異常の児童・生徒が精神的苦痛を感じないような検査の体制づくりが進められています。

色覚異常の疑いが見つかった場合、眼科で色相配列検査やアノマロスコープ等といった精密検査を行います。一般的な眼科ではある程度色覚異常の型や程度を診断することはできませんが、すべての検査はできません。更に精密な検査をご希望の場合には、大きな病院の色覚外来などを受診していただく場合があります。

緑と赤、オレンジと黄緑、青と紫など、先天性色覚異常だと見分けにくい色の組み合わせがあります。その混同を周囲の人から指摘されるなどして成長の途中で自身の色覚異常に気付くのが一般的ですが、症状は生まれつき不変のものであるので、なかなか自分では気が付けません。複数回の検査を受ける必要はありませんので、一度は色覚検査を受けていただきたく思います。

わたくしたちの健康

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	電話(048)	場所	施設名	科目	電話(048)	
3	5	新座	新座中央通り診療所	内・小	473-3331	和光	萩原医院	産婦	461-2046
	12	朝霞	磯貝医院	内・循内	463-2370	朝霞	谷合医院	眼	462-2355
	19	和光	田中医院	内	461-2060	朝霞	阿部産婦人科医院阿部レディースクリニック	産婦	465-8118
	20	新座	新座すずのきクリニック	精・心内	480-5511	朝霞	北朝霞整形外科	整外・内・リウ・リハ	474-7711
	26	和光	西谷医院	内・小・循内	461-2226	志木	清河眼科医院	眼	474-3369



※当番医は変更になる場合があります。確認してからお出かけください。

※3月の休日歯科応急診療所

実施日時 3月20日(月・祝) 午前9時～11時30分
 場所 新座市休日歯科応急診療所(新座市保健センター)
 診療料 健康保険法の規定料金(保険証を必ずお持ちください。)
 問い合わせ ☎048-481-2211

※救急医療のお問い合わせ

●埼玉県救急医療情報センター ☎048-824-4199
 ●埼玉県南西部消防本部 ☎048-460-0123
 ※小児救急電話相談 #8000(携帯電話からも相談可能)
 ※大人を対象とする救急電話相談 #7000(携帯電話からも相談可能)